

か い おう ごん むら ゆ の おく きん ざん はく ぶつ かん
甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
THE Yu-no-oku MUSEUM OF GOLD MINING HISTORY



夏だ！金山だ！砂金採いだ！

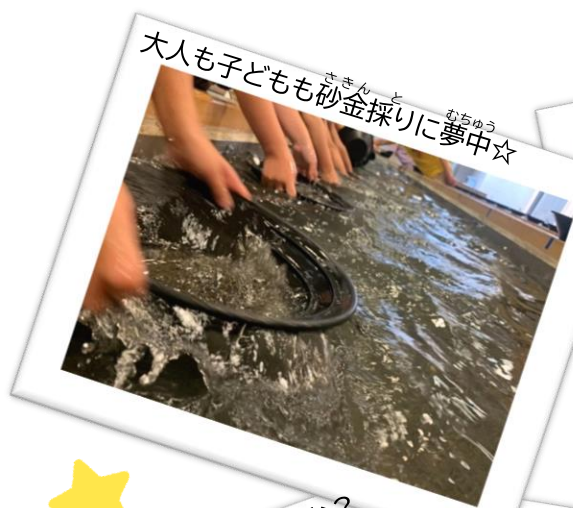
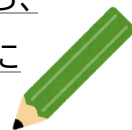
ゆ の おく きん ざん はく ぶつ かん
湯之奥金山博物館に
いらっしゃーい



むかしの人はどうやって、金鉱石をとったんだろう？じつは、金をとるにはすごくたくさんの作業が必要だったんだよ。

この博物館では、「湯之奥金山遺跡」で発見されたものから、500年前の人たちがどうやって金をとりだしていたのか(鉱山作業)、どんなふうに暮らしていたのかということを紹介。

砂金採り体験室では、「汰り分け」という鉱山作業のひとつを体験できるんだ。砂の中から、金がおもいことや水の力をつかって金のつぶ(砂金)を見つけていくよ。とった金は、おうちに持って帰れるとても楽しい体験！



大人も子どもも砂金採りに夢中☆



30分で3粒とれたら100点満点！



金っていいよね♪



どうやって金を採ったのかな？



この丸い粒は何だろう？



金色の屋根が目印☆

金 山 ク イ ズ



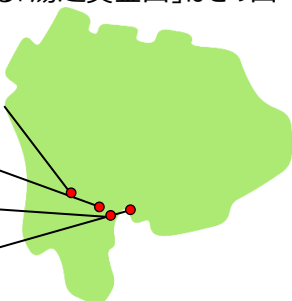
なんもんできるかな？

※こたえは、このページのさいごにあるよ

第1問

はくぶつかん しやうかい
博物館が紹介している「湯之奥金山」はどの山にあるでしょうか？

- ① 富士見山 (1640m)
- ② 醍醐山 (634m)
- ③ 毛無山 (1964m)
- ④ 富士山 (3776m)



第2問

ゆ の おくきんざん
湯之奥金山がある山は、第1問で正解の山の名前のほか、国道52号線からみると、ある動物の形に似ていることから「○○山」とも呼ばれているよ。その動物は何？



- ① タヌキ
- ② ライオン
- ③ キリン
- ④ コウモリ



第3問

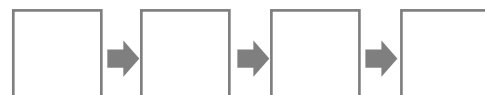
さきん とら たいはんしつ
砂金採り体験室では、むかしの人の作業を体験し、たくさんの砂の中から金を見つけます。では、砂の中から金をとりだすには何をつかうでしょうか？

- ① 火
- ② 風
- ③ 水
- ④ 光



第4問

金鉱石から金を取り出す作業の順番を正しく並べかえてみよう。



A 「汰り板」という道具で、金が重いことを利用して金を見つける



B 山から金鉱石をとってくる



C とった金を高温で溶かして粒にする



D 石臼で鉱石を粉状にする

第5問

水は0℃で固体(氷)から液体(水)に、100℃で気体(水蒸気)になるように、温度によって状態が変わります。金が固体(かたまりの状態)からドロドロにとけるの温度はどれくらい？



- ① 660℃
- ② 961℃
- ③ 1064℃
- ④ 1536℃

利用案内

<開館時間> 午前9時～午後5時(最終受付は午後4時30分)
ただし、7月19日(土)～21日(月・祝)、26日(土)、27日(日)
8月14日(木)～17日(日)は午後6時まで開館！(最終受付は午後5時30分)
<休館日> 毎週水曜日(祝日の場合はその翌平日)



▲詳細は公式 HP へ

☆クイズのこたえ☆

第1問：③ 毛無山の標高は1964m 第2問：④ コウモリが羽を広たように見えることからそう呼ばれているよ

第3問：③ 金が重たいことを利用して水を使って砂金をとるよ

第4問：B→D→A→C 博物館ではこの作業について、くわしく勉強できるよ 第5問：③ ちなみに①はアルミニウム、②は銀、④は鉄だよ